

輸出事業計画

※申請者名：くりや株式会社、品目：米菓子、米加工品

1. 輸出における現状と課題

【現状】

＜会社概要＞

当社は、1882年の創業以来140年以上に渡りお米の販売を行っています。主に、玄米を精米し包装した後、飲食チェーンや量販店等に卸売りしています。全国47都道府県のお米を取り扱っていることに加え、ブランド化に係る生産者との対話も重視しており、川上から川下までのお米ビジネスに携わっています。また、オコメール＝1合もしくは2合のサイズでメッセージを添え郵送する事も可能な米商品なども積極的に開発しており、企画、開発力も当社の強みです。

＜課題＞

減り続けるお米の消費量を背景に、米卸間の価格競争の激化により、ほとんどの精米工場や卸売り者は疲弊しています。農家に原料毎の販売価格決定権がないため、生産計画が不安定となり、中・長期の継続的な経営に繋がらない状況となっています。

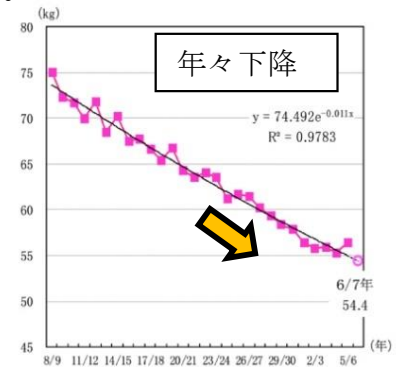
また、輸出においては相手国による玄米や精米での輸出に関する規制も多く、相手国に個別に対応した輸出には、詳細な準備や検査などのコストが乗り、結果として相対的な価格競争力が失われ輸出が難しいものとなっています。

そこで、独自性のある、お米の加工品（玄米クラッカー・玄米パックごはん）を生産・輸出出来れば、新たな市場を開拓できるものと考えています。既存の間接輸出から直接輸出への転換、中長期の販売計画に裏付けされた農業の計画経営化などを推進します。これには、社内や農家の新規人材やレベルアップが必須となりますので、この点にも注力していきます。

玄米の持つ可能性を強みに輸出拡大を図ることが当社の使命だと考えています。



当社外観



「米に関するマンスリーレポート」(令和6年10月号)

2. 輸出事業計画の取組内容

【生産】令和6年に実施

年間の販売計画を明確にすることで、確実な生産計画が、価格交渉の裏付けとなり、結果として安定生産や経営戦略を立てやすくすることで、米生産者のやりがいを生み出し、後継者問題の解決にも寄与するものと期待します。また、農家の後継者に対して農業経営についての勉強会を開催したいと考えています。

【加工】令和5年より実施

玄米のお菓子製造に実績のある専門メーカーの意見も参考にしながら試作を重ね、リピート購入して頂けるような食べやすく美味しい玄米クラッカー商品を開発します。重要なフェーズにおいて随時意見交換(月2回以上)を重ねて試作品を作り、これを展示会に出展して現地のニーズと照らし合わせます。玄米パックごはんについては、自社に整備した製造ラインを活用し、安定生産に努めます。

【物流】

社内人材で輸出が完結できるように教育やOJT研修を行い、直接輸出を中心として販売できるような体制を構築します。

【販売】

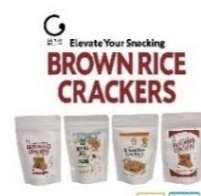
玄米を主原料にする事で、栄養面や食感、味をストロングポイントとして説明・サンプル提供を行い、差別化に導きます。



食品展示会



展示会



商品画像



輸出事業計画

※申請者名：くりや株式会社、品目：米菓子、米加工品

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

事業全体では、輸出コンサルタント(マーケティング・パッケージデザインなど)やアドバイザーとして他社商品製造メーカーと連携することで、現地のニーズや顧客要求事項を把握・整理し、農家へ情報提供するとともに、栽培計画の進捗管理を行います。

特に商品製造メーカーと連携を強め、適正でスピーディーな生産と商品供給体制を構築します。

また、行政機関等と連携を図ることにより、各種補助金・助成金情報の共有や相談を行うとともに、栽培を起点とした各セッションでの課題解決に向けて、官民一体となった産地体制を構築します。

PLAN

- ・商品企画
くりや株式会社
生産メーカー
輸出コンサルタント
- ・生産計画の立案
くりや株式会社
生産メーカー
輸出コンサルタント
- ・販売計画の立案
くりや株式会社
輸出コンサルタント

DO

- ・商品決定
くりや株式会社
生産メーカー
- ・展示会・商談会出展
くりや株式会社
輸出コンサルタント
- ・生産
生産メーカー

CHECK

- ・生産時間問題の抽出
くりや株式会社
生産メーカー
輸出コンサルタント
- ・展示会・商談会成果、問題点の抽出
くりや株式会社
輸出コンサルタント
- ・顧客満足度の測定
くりや株式会社
輸出コンサルタント
※アンケートなどの測定

ACTION

- ・商品の改善
くりや株式会社
輸出コンサルタント
- ・生産の改善
くりや株式会社
生産メーカー
- ・販売計画の改善
くりや株式会社
輸出コンサルタント

報告・相談・連携 栽培農家 ・ 香川県 ・ JETRO ・ 各自治体

・各輸出先国に強みを持つ商社と連携しながら、輸出目標の達成に向けて上記PDCAサイクルを回していきます。

4. 輸出目標額

輸出品目 米菓子、米加工品 (玄米クラッカー、玄米パックごはん)	現状 令和4年度 (2022年11月~2023年10月)	目標年 令和7年度 (2025年11月~2026年10月)
輸出額(千円)	0	8,000 (玄米クラッカー) 12,000 (玄米パックごはん)
輸出量(kg)	0	4,400 (玄米クラッカー) 15,600 (玄米パックごはん)
輸出先国	なし	アメリカ シンガポール (玄米クラッカー) アメリカ シンガポール 台湾 (玄米パックごはん)